

平成20年6月12日
於
府中市立教育センター

平成20年第6回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成20年第6回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成20年6月12日(木)
午後1時30分
閉 会 平成20年6月12日(木)
午後2時44分
- 2 会議録署名員
委 員 北 島 章 雄
委 員 谷 合 隆 一
- 3 出席委員
委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘
委 員 谷 合 隆 一 委 員 北 島 章 雄
教育長 新 海 功
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 糸 満 純一郎 文化スポーツ部長 大 野 明
教育部副参事 酒 井 泰 文化スポーツ部次長 齋 田 文 雄
総務課長 三ヶ尻 秀 男 文化振興課長 後 藤 廣 史
総務課長補佐 河 野 孝 一 図書館長 桜 田 利 彦
学校耐震化等推進 宮 本 正 男 美術館副館長 石 井 順 子
担当主幹
学務保健課長 田 中 陽 子
給食担当副主幹 新 藤 純 也
指導室長補佐 佐々木 政 彦
指導室副主幹 師 岡 政 行
統括指導主事 花 田 茂
指導主事 長 田 和 義
指導主事 出 町 桜一郎
指導主事 長 井 満 敏
指導主事 国 富 尊
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 田 中 啓 信
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議案

第3 1号議案 府中市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部委任に関する規則の一部を改正する規則

第3 2号議案 府中市立学校における事案決定に関する規程の一部を改正する規程

第4 報告・連絡

- (1) 寄付に対する感謝状の贈呈について
- (2) 平成20年度府中市教育委員会研究協力校研究発表等について
- (3) 平成19年度文化振興・文化財保護・普及事業について
- (4) 平成19年度生涯学習関連事業について
- (5) 平成19年度社会体育事業結果報告について
- (6) 平成19年度図書館利用状況について
- (7) 平成19年度美術館関連事業について
- (8) 企画展「民衆の鼓動－韓国美術のリアリズム 1945－2005」について

第5 その他

第6 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成20年第6回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会議録署名員の選定ですが、北島委員と谷合委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日は傍聴希望者が2名おりますが、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

_____ ◇ _____

◎第31号議案 府中市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部
委任に関する規則の一部を改正する規則

○委員長（久芳美恵子君） それでは、議案の審議に入ります。

本日は追加議案が2件ございます。

第31号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○総務課長補佐（河野孝一君） ただいま議題となりました第31号議案、府中市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部委任に関する規則の一部を改正する規則につきまして、ご説明申しあげます。

本件につきましては、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、職員の育児休業等に関する東京都の条例が改正され、市立学校職員につきましても、本年7月1日から育児短時間勤務が導入されることになったため、本規則の関連箇所を改正するものでございます。

改正の内容でございますが、副校長に係る育児短時間勤務に関する承認事務については校長が、副校長を除く職員に係る育児短時間勤務に関する承認事務につきましては副校長が行うものといたします。

お手元の議案書の新旧対照表をお開き願います。

第2条第1項第8号中「副校長の育児休業」の次に「、育児短時間勤務」を加えます。

また、同条第2項第7号中、「育児休業」の次に「、育児短時間勤務」を加えます。

いずれも、それぞれ育児休業等の承認事務に、育児短時間勤務を加えるものでございます。

なお、施行日は、平成20年7月1日でございます。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

今、説明が終わりましたが、この件につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

文言の追加ということです。はい、お願いいたします。

○委員（新海 功君） 今日の午前中にありました校長会におきまして、指導室長より、こ

の制度について教職員にきちんと説明をするようお願いしたところです。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

それでは、第31号議案、府中市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部委任に関する規則の一部を改正する規則について、決定いたします。



◎第32号議案 府中市立学校における事案決定に関する規程の一部を改正する規程

○委員長（久芳美恵子君） 次に、第32号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○指導室長補佐（佐々木政彦君） ただいま議題となりました第32号議案、府中市立学校における事案決定に関する規程の一部を改正する規程について、ご説明申し上げます。

本件につきましては、先ほど決定いただいた第31号議案と関連し、市立学校教職員に係る育児短時間勤務に関する事案決定について定めるものでございます。

改正の内容でございますが、副校長に係る育児短時間勤務に関する事案決定につきましては校長が行い、副校長を除く職員に係る育児短時間勤務に関する事案決定につきましては副校長が行うものいたします。

お手元の議案書の新旧対照表をお開き願います。

左側、新の別表中、2の（2）の校長の欄4、及び副校長の欄1の下線部、「育児短時間勤務」を「育児休業」の次に加えます。

施行日は、平成20年7月1日でございます。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

事務局の説明でございますが、こちらも第31号議案と関連するということで、育児短時間勤務が追加されるということでございますが、何かご意見等ございますでしょうか。

それでは、ご意見等もございませんようですので、第32号議案、府中市立学校における事案決定に関する規程の一部を改正する規程について、決定いたします。



◎寄付に対する感謝状の贈呈について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡に移ります。

報告・連絡（1）、総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐（河野孝一君） ただいま議題となりました寄付に対する感謝状の贈呈につきまして、資料1によりご説明をいたします。

本件の寄付は、記載のとおり府中市立住吉小学校に対するものでございます。

寄付品は、電波修正グランドクロック1台、及び子時計モニター用1台で、総額で32万円相当でございます。

寄付者は、府中市立住吉小学校創立40周年記念事業実行委員会、受領日は、平成20年5月21日でございます。

今回の寄付につきましては、府中市教育委員会表彰規程等により、感謝状贈呈の対象となりますので、感謝状を贈呈したいと考えております。

以上、ご報告を申し上げます。

○委員長（久芳美恵子君） この感謝状の贈呈について、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

特にご意見、ご質問ないようでございますが、大変ありがたいことでございます。

それでは、報告・連絡（1）寄付に対する感謝状の贈呈について、了承いたします。



◎平成20年度府中市教育委員会研究協力校研究発表等について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（2）について、指導室、お願いいたします。

○指導主事（出町桜一郎君） 平成20年度府中市立学校研究協力校等について、資料2に基づき、3点ご報告いたします。

まず1点目でございますが、府中市研究協力校2年目の学校でございます。府中第二小学校、府中第三小学校、白糸台小学校、矢崎小学校、若松小学校の5校、府中第七中学校の1校、合計6校でございます。

府中第七中学校におきましては、東京都の人権尊重教育推進校の指定も受けてございます。研究発表会につきましては、来年、平成21年の1月28日を予定しております。

2点目でございますが、府中市研究協力校1年目の学校でございます。小学校7校、中学校3校の、合計10校でございます。この10校に関しましては、引き続き平成21年度も研究を深め、平成21年度内に発表を予定しております。

3点目でございますが、府中市を会場とする研究発表についてご報告いたします。府中第六中学校で実施いたします「第34回関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会」、府中第八中学校においては、「平成20年度安全教育プログラム開発事業推進校－災害安全部会－」、浅間中学校、府中市美術館において「第26回東京都中学校美術教育研究会府中大会」が開催されます。

本年度の研究協力校の傾向でございますが、小学校では国語科を研究主題とする学校が多くなっております。また、中学校では、全教科、全教員を通した授業改善を図る学校が多くなっている状況がございます。

府中市の研究協力校の大きな特徴は、教育委員会事務局で学校指定等をするのではなく、学校みずから手を挙げ、自主的に研究に取り組んでいる点でございます。過去5年間の発表校数は、平成15年度が8校、平成16年度が11校、平成17年度が8校、平成18年度が11校、平成19年度が11校となっております。市内の各学校がみずから研究を推進し、教員の資質を高めるとともに、子どもたちへの教育の質の保証を図っている結果とも言えます。

今後も各学校と教育委員会が一体となり、研究を推進してまいります。

以上、ご報告申し上げます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

2年目6校、1年目10校という、33校のうちほぼ半分が、また研究をしていらっしゃるという状況で、これはもう平成15年度からずっと続いているようでございますが、大変心強い感じでございます。いかがでございましょうか。この件につきまして、何かご質問、ご意見

等ございましたら。

それでは、私からなのですが、研究発表の予定の日が1月21日から下旬にかけて集中しておりますが、これは何か、例年ですと10月ぐらいから飛び飛びとという印象がございますが、いかがでございましょうか。

○指導主事(出町桜一郎君) 本年度、特に小学校でございますが、学芸会を10月前後に予定している学校が多くございまして、そちらとの重なりを避けるということで、その10月前後の日程の設定というものが、本年度につきましてはございません。そのため1月、2月というような形での設定をさせていただいております。

○委員長(久芳美恵子君) 了解いたしました。学校の事情ということが大きな要因であるということでございます。わかりました。

お願いします。

○委員(新海 功君) この報告・連絡につきましては、前回の教育委員会の折に、一覧表としてお示ししますということでお約束したものです。

研究協力校の事業というのは、本市の教育委員会の事業の中で、最もすぐれたものの一つであり、校長先生も学校も最も力を入れて頑張ってくれているものであり、市教委も最も大事に考えているものですので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

特に、本年度の発表につきましては、府中第六中学校の11月7日の発表会と、白糸台小学校の2月6日の発表会以外は、1月に集中しております。どうぞ手帳の中に書き入れておいていただき、参加・激励いただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○委員長(久芳美恵子君) 本当に、これだけの研究が市でなされているということは、先ほども申しあげましたように、大変心強いことでありまして、先生方の研修としても、校内研究が一番、力を持つものであると私自身も思っておりますので、本当にありがたいことでございます。

特にあとはありませんか。

それでは、報告・連絡(2)平成20年度府中市教育委員会研究協力校研究発表等について了承いたします。



- ◎平成19年度文化振興・文化財保護・普及事業について
- ◎平成19年度生涯学習関連事業について
- ◎平成19年度社会体育事業結果報告について
- ◎平成19年度図書館利用状況について
- ◎平成19年度美術館関連事業について

○委員長(久芳美恵子君) それでは、報告・連絡(3)から(7)まででございますが、一括して文化振興課でご報告をお願いいたします。

○文化振興課長(後藤廣史君) 昨年度、平成19年度の旧の生涯学習部の各課の報告でございますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、資料3に基づき、平成19年度文化振興・文化財保護・普及事業結果についてご報告いたします。

1の青少年に関する事項ですが、第22回府中市青少年音楽祭を開催いたしました。

2の文化事業奨励に関する事項は、青少年音楽団体が行う定期演奏会など、会場使用料や器具使用料を援助するものでございます。

次に、3の埋蔵文化財発掘調査の状況は、一番下段にありますとお計56件で、3万8,467平方メートルを調査いたしました。

4の(1)の指定文化財の数は、前年度と変わりません。

(4)は、例年、教育委員会と郷土の森博物館が共催しております特別展で、市内遺跡の発掘速報と、縄文時代の集落遺跡、清水が丘遺跡をテーマとした展示を行いました。

ページ変わりがして、5の郷土の森博物館の利用状況は、開館日数309日、プラネタリウム投影日数294日で、入館者、プラネタリウム観覧者の合計は41万6,452人でした。これは前年度の35万6,071人を大幅に上回る結果となっております。

なお、梅まつり開催中の3月9日には、1日当たりで年度内最高の8,827人の来場者がありました。

特別展では、本市ゆかりの民俗学者、宮本常一の生誕100周年を記念して開催した特別展「宮本常一の足跡～旅する民俗学者の遺産」が大きな成功をおさめました。

続きまして、資料4に基づき、生涯学習関連事業についてご報告いたします。

平和啓発事業としましては、平和子どもバスツアー、平和展、講演会、映画会、平和コンサートを実施いたしました。

裏面をご覧ください。公民館事業といたしまして、市内11カ所の文化センター内の地区公民館などで、大人、子どもを対象に講座を実施いたしました。

9のセミナー関係事業ですが、生涯学習センターで、教養セミナー、実技セミナー、スポーツセミナーなど、合計101講座を903回行い、延べ2万8,000人の市民が受講しております。

10のイベント事業ですが、9月に市民の学習成果の発表の場として「生涯学習フェスティバル」を開催し、6,000人以上の市民が参加いたしました。

ページ変わりがして、生涯学習センターの利用状況ですが、記載のとおり合計41万人の市民が利用しております。平成18年度に比べて4万人ほど減っていますのは、昨年7月と今年1月から3月にかけて温水プールの改修工事を行い、休みとなったのが原因だと思います。

続きまして、資料5に移ります。資料5に基づき、平成19年度社会体育事業結果についてご報告いたします。

社会体育といたしましては、指導者育成を初め、スポーツ教室や各体育館での事業を通して、市民が身近なところで気軽にスポーツ活動ができるよう、さまざまな事業を展開し、また市民体育大会を初め各種スポーツ大会を開催して、スポーツの振興に努めました。

とりわけ4の市民スポーツ教室でございますが、子どもたちへのスポーツ事業を充実させるため、農工大学との共同事業による「馬の教室」、またジュニアスキースクールを姉妹都市の八千穂スキー場で2泊3日の教室を実施するほか、ページ移りまして、7のレクリエーション事業での、市内を活動拠点としておりますトップチームの協力による「ボールふれあいフェスタ」など、市内の団体等と協働した事業を実施いたしました。

続きまして、資料6をご覧ください。平成19年度図書館利用状況についてご報告いたします。

図書館につきましては、12月1日に新中央図書館が、また平成20年2月1日に宮町図書館が開館した一方、平成19年11月30日で桜通り図書館が閉館するなど、その運営体制が大きく変化した年でした。

表の一番下、増減の欄をご覧ください。利用状況の前年度比較では、開館日数が、開館準備等のための臨時閉館で大きく減っておりますが、マイナス325日となっております。新規登録者数は、前年度を2,500人以上上回り、その左にございます貸出利用数3万9,495点は2%増となっております。

一番上の行、中央図書館の開館日数240日のうち、新中央図書館の開館日数は105日でございます。4か月間、105日の一日の平均値は、入館者3,405人、新規登録者44人、貸出4,911点でした。

続きまして、資料7に移ります。美術館関連事業についてご報告いたします。

1の展覧会は、記載のとおりで、「動物絵画の100年展」には、秋篠宮親王殿下のご来館をいただきました。

また、2の教育普及事業等では、10代の青少年が気軽に創作活動を行う「ティーンズスタジオ」を初め、公開制作やワークショップなどの関連プログラムの充実に努めるほか、学校教育と連携した市立小・中学校美術鑑賞教室を実施いたしました。

3の市民ギャラリーでは、市内で活動するグループや個人の展示を初め、市民芸術文化祭や、北多摩地区中学校美術展などに利用され、平成19年度全体の美術館の来館者数は延べ、18万9,000人で、前年度を1,200人以上上回りました。

4の収集美術作品は、記載のとおり購入と寄贈によるもので、収集作品総数は1,400点あまりとなりました。

以上で報告を終わらせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。（3）から（7）まで一括してご報告いただきました。

それでは、一つずつご意見を伺っていきたく思います。

（3）の文化振興・文化財保護・普及事業結果について、いかがでございましょうか。

一つ質問してよろしいでしょうか。郷土の森博物館の利用状況でございますが、前年度より大幅にふえてございますね。これは何か、これがあつたからとか、そうではなくて全般的に入場者数がふえているとか、その辺はどうでございますか。

○文化振興課長（後藤廣史君） 博物館の大幅な増の要因でございますが、6月からのプラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」が大変好評であったこと、3月まで上演しまして非常にロングラン、人気の番組になりました。それから「宮本常一展」、「世界の昆虫博」などといった話題性のある特別展を開催したこと。それから梅園を初め園内の植栽ですが、例えばハギのトンネルとかロウバイとか、そういったことで園にお見えになる方も多くいらしたこと。また、梅まつり、開花が遅れたのですが、1週間延長しました結果、前年度よりも多く入っていただいたというようなことが、大幅増の要因かと思えます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。いろいろな特別展を企画していただいたり、また、梅の開花が遅れるとなったら臨機応変に期日を変更していただくなど、そういうご努力の結果だと思います。ありがとうございました。

ほかにかがでございましょうか。よろしいですか。それでは、報告・連絡（3）平成19年度文化振興・文化財保護・普及事業の結果について了承いたします。

次に（4）でございます。平成19年度生涯学習関連事業について、これについてはいかがでございましょうか。はい、お願いいたします。

○委員（谷合隆一君） 先ほど生涯学習センターの利用者数の減少は、プール等の改修によるものということですが、それ以外で利用者がふえるようなPRと申しますか、そのようなことは、何か具体的に行われた点というのは、イベントやそういう定例の催し物以外にPR的なものに力を入れたというものはございますでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○文化スポーツ部次長（齋田文雄君） 宿泊施設が生涯学習センターにはあるのですが、ここ近年、宿泊施設の利用者、研修等による利用者が年々減少傾向にありまして、昨年度はちょっと具体的な対応はできなかったのですが、本年度は商工会議所とか、市内のそういう企業の研修の場として、よりご活用いただくように努めてまいりたいと思っております。

昨年度、確かにプールの改修工事が3カ月間程度ございましたので、その利用者の減が全体の利用者の減の原因になっているわけですが、今年度はプールもきれいになりましたので、施設の宣伝、特に体育施設の利用をいただくように、そちらの方のPRに努めてまいりたいと思っております。

○委員（谷合隆一君） 足を運ぶたびに、すばらしい施設を再認識するわけなので、ぜひ利用者が増えることを祈っております。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにかがですか。はい、お願いします。

○委員（崎山 弘君） 体育施設の利用者に関してなのですが、特に人がけがするような事故などは、昨年1年間に関してはなかったかどうかをお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○文化スポーツ部次長（齋田文雄君） 特に大きな事故は、おかげさまでございませんでしたけれども、ふじみ野市のプール事故等を教訓といたしまして、今年度につきましても、特に安全には配慮していきたいと思っております。

○委員長（久芳美恵子君） よろしくお願いいたします。

ほかにかがでございましょうか。それでは、報告・連絡（4）平成19年度生涯学習関連事業について了承いたします。

（5）平成19年度社会体育事業の結果の報告でございます。これについてはいかがでございましょうか。何かございますでしょうか。お願いいたします。

○委員（谷合隆一君） ウィンタースポーツ、特にスキーマの大会ですとか、府中市が主催しているものの参加者の推移というのは、大体増えているのか、減っているのかというのを、わかりましたら教えていただけますでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○文化スポーツ部次長（齋田文雄君） 申し訳ございません、特に詳細な資料は持ち合わせてございませんけれども、あまり増えている傾向にはないということでございますので、これからより多くの方に参加していただけるようにしていきたいと思っております。

○委員（谷合隆一君） 逆に、これは増えているのだというような競技と申しますか、そう

いうものはございますでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いします。

○文化スポーツ部次長（齋田文雄君） テニスとか、もともと庭球場がたくさんあるとか、人口が多いものについては、特に増加傾向はないようですが、新たなスポーツ、ニュースポーツの紹介ということで、体育指導員を通じて、新しい、レクリエーション的な要素を含めたスポーツの普及を図ってございまして、総体的にはそういうスポーツに参加いただいているというのがございますので、総人口の増加ということは言えると思います。

○委員長（久芳美恵子君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

先ほどのご説明では、市民スポーツ教室では、農工大との連携であるとか、姉妹都市である八千穂との連携であるとか、府中市ならではのいろいろなスポーツ教室が開催されていると思います。もうこれは本当に市民にとっては、ほかのところではなかなか得がたいものだと思いますので、より一層市民が参加できるように、ぜひ宣伝に努めていただければと思います。ありがとうございます。

それでは、報告・連絡（５）平成19年度社会体育事業結果報告について了承いたします。

それでは（６）でございます。平成19年度図書館利用状況についてでございますが、いかがでしょうか。

○委員（谷合隆一君） 図書館ですが、新中央図書館の利用者が大変多いということは伺っているのですが、利用者の方の声と申しますか、大変広くもなりましたし、図書数もふえていくところですが、使い勝手があまりよくないとか、そういった利用者の声を聞くアンケートのようなものというのは、開館以来、行ったことはございますでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○図書館長（桜田利彦君） 利用者アンケートにつきましては、館内にご意見箱を設置してございまして、日常的にご意見をいただけるようにしております。また、口頭でも、係員がいますので、ご意見を伺うようにしております。また、本年度、アンケートを実施するという事になってございます。

○委員（谷合隆一君） そのアンケートの内容の中には、改善可能なことですか、そういった、具体的にいうとどのようなものがあるか、今、わかりますでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） はい、お願いいたします。

○図書館長（桜田利彦君） 現状、考えておりますのは、施設の使い勝手でありますとか、あるいは図書館システムの利用しやすさですね。検索端末の使い方だとか、あるいはまた、担当しております係員の対応の仕方でありまして、その辺のところをお聞きしたいと考えております。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにいかがでしょうか。

以前、自転車の駐輪場が非常に狭いというお話もありましたですね。それに対して、何か今、市で策を講じていらっしゃるのでしょうか。はい、お願いします。

○文化振興課長（後藤廣史君） ルミエール府中全体のことでございますので、私の方からお答えさせていただきます。

オープンしまして、すぐに自転車駐輪場が不足したということがございました。そこで、市の方で早急に動きまして、市民会館の東側に畑がございます。こちらを地主さんから、それは

身障者用の農園のような形になっていたのですが、その農園を第二小学校の北の方に移転していただいて、地主さんのご了解を得まして、そこを今、簡易舗装いたしまして、臨時の駐輪場ということにさせていただきます。それから府中公園の方にもさせていただきますけれども、一応そういった形で、自転車の件は、何とか近くで収納できるようになっているところでございます。

それから、その管理等々につきましては、財団やPFI事業者の方で管理しております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 早速対応いただき、ありがとうございます。その障害のある方のための畑も、また別のところにすぐ確保していただけたということで、ありがとうございます。

あと、確認なのですが、先ほどのご報告の中で、新中央図書館の来館者の方が平均3, 405人というのは、1日のことでございますでしょうか。

○図書館長（桜田利彦君） 1日でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 1日ですね。大変な数でございますね。ありがとうございます。

○委員（新海 功君） 中央図書館がルミエール府中の中に新しく開館して、本当に図書館がこんなに人で賑わっているのを見たことがないという光景を見たわけではありますが、図書館にかかわることで、今後の課題になることの一つは、いわゆる学校教育ネットワークシステムがありますよね。WAN（ワイド・エリア・ネットワーク）であります。これと中央図書館との連携を図っていくことです。これからの重要な課題になっていきますので、その計画を、今、考えているところです。そのことは研究的にもやっていかないといけないし、実際的にもやっていかないといけないということです。万全を期して進めていきたいと考えているところでございます。

○委員長（久芳美恵子君） そうですね。今年ですか、視察させていただいたところでも、いわゆるその地域の中央図書館と学校が連携をして、学校の指導に必要な図書を一括して送っていただくとか、そういうことをお聞きしましたね。ですから、同じような形、どういう形をとられるかわかりませんが、ぜひ中央図書館と学校とが連携して、今、お話いただいたようなシステムが構築されればいいなというふうに思いました。ありがとうございます。

ほかによろしいでしょうか。

それでは報告・連絡（6）平成19年度図書館利用状況について了承いたします。

次に、（7）平成19年度美術館関連事業についてでございますが、いかがでしょうか。

先ほどのご報告では、前年度に比べて1, 200人以上の来館の増があったというお話でございましたけれども、なかなか美術館で、これだけの増加を図るというのは大変なことだろうというふうに思います。いろいろな企画展、素晴らしい企画展を考えていただき、イベントもやっていただきました。本当にありがとうございます。

美術鑑賞教室について、この辺は参加の人数が増加していればいいと思いますが、せっかくの施設を小・中学生がどのぐらい利用されているのかなというのが大変、気になるところで、3, 184人という数字は、どうなのでございましょうか。お願いします。

○美術館副館長（石井順子君） 美術鑑賞教室につきましては、毎年「鑑賞のてびき」というものを小学校向けと中学校向けのものをつくっております。小学校であれば4・5・6学年の中の学校が指定した1学年、中学校は1年生を対象として「鑑賞のてびき」を事前にお配り

しております。

それで、小学校の場合はほとんど交通手段はバスの送迎で来ますので、学校のクラスが一同にして、「鑑賞のてびき」を使って鑑賞教室をさせていただきます。ですから、数は確実にカウントできるのですが、中学生の場合には、学校ごとに来ませんで、生徒が自由に来ますので、この「鑑賞の手引き」を生徒が持ってきますと、美術館の方でスタンプを押しまして、半券を美術館の方で回収し、「鑑賞の手引き」は生徒に返します。その手引きを学校の図工の先生に生徒は提出しますので、年間、学校から何人来たという報告が美術館の方にまとめて来ますので、数字としては把握できます。このほかに「学びのパスポート」のご利用は、また別枠ですので、参加人数は「鑑賞の手引き」でのカウント数のみですから、こういった数字となっています。どうしても中学生は個人で来ますので、今後はもう少し計画をして、より来ていただくようにという形はとりたいと思っております。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。小学生と中学生の人数を、大体、中学校は小学校の半分と大まかに考えれば、小学校と変わらない形で中学生も来てくれているのかなというふうに思いますが、もうぜひこれは感性が豊かな時期に一人でも多くの子どもたちが美術館でいろいろなものを鑑賞したり、実際にやったりというふうにしてもらえると、本当にうれしいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

それでは報告・連絡（7）平成19年度美術館関連事業について了承いたします。



◎企画展「民衆の鼓動－韓国美術のリアリズム1945－2005」について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、報告・連絡（8）につきまして、お願いいたします。

○美術館副館長（石井順子君） それでは美術館から、今回の企画展「民衆の鼓動－韓国美術のリアリズム1945－2005」につきまして、ご報告いたします。

7月5日の土曜日から8月24日の日曜日まで、企画展「民衆の鼓動－韓国美術のリアリズム1945－2005」を開催いたします。韓国国立現代美術館の所蔵品を初め、絵画、版画、彫刻、写真、映像など約110点の作品を通じて、1945年の解放から現在に至るまでの流れを紹介いたします。

本展覧会は、本市美術館を含めまして、全国で5館を巡回するものでございます。昨年10月に新潟県立万代島美術館を皮切りに、福岡アジア美術館、都城市立美術館と巡回し、西宮市大谷記念美術館が、現在、開催しております、最終回が本市美術館の開催となります。

なお、本展覧会の出品作品の中には、作者が社会的、歴史的背景を簡潔に表現しようとして撮った暴力的、過激ともとれるような表現を含む作品も含まれておりますが、作家の意図を尊重して、そのまま展示をいたします。しかしながら、本市での開催が夏休みの期間中と重なりますので、児童・生徒への影響について配慮することを十分検討した結果、作品の一部展示替えを行うとか、鑑賞教室を予定しています小学校につきましては、事前に先生と鑑賞の方法など十分な打ち合わせを行い、対応してまいりたいというふうに考えてございます。

また、裏面の方をご覧くださいますと、同時開催といたしまして、常設展は、本市美術館のキャラクターである「ぱれたん」がわかりやすく紹介いたします。

また、共同企画として、多摩地区図画工作教育研究会との共催により、ドラゴンチェアなどの楽しいプログラムを開催いたします。

以上、よろしくお願ひいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

この件につきまして、何かご質問やご意見ございますでしょうか。

つい最近までは近くて遠い国でございましたけれども、だんだん距離が近づいていると、私も実感しております。ぜひ、先ほどお話しいただきました学校の鑑賞教室の件では、先生方と十分に連携をとっていただければと思います。

ほかにごございませんでしょうか。委員からも、ぜひ見てみたいという声も出ております。

それでは報告・連絡（8）企画展「民衆の鼓動—韓国美術のリアリズム1945—2005」について了承いたします。ありがとうございます。

そのほかに何かございますでしょうか。



◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） ないようでございますので、教育委員報告に移ります。

ご報告をお願いいたします。

○委員（谷合隆一君） 谷合から報告いたします。

5月24日に、浅間中学校、それから住吉小学校、南町小学校の3校の運動会に行っていました。午後から天気が崩れるという予報の中で、各校、種目をこなしながら、プログラムを少しずつ変更し、空とにらめっこしながら開催しておりましたけれども、そんな中、生徒・児童は大変元気に各種目をこなしておまして、声も高らかに体を動かしておりました。

残念ながら、翌週の31日に私が出席を予定しておりました第二小学校と第六小学校につきましては、雨天のために翌週の火曜日ということになったのですが、どうしても都合がつかず、そちらには出席することができませんでした。

今までの間の教育委員活動としては、以上です。

○委員（北島章雄君） 北島の方から報告させていただきます。

同じく5月24日、第九小学校と第五中学校の運動会を見に行っていました。

第九小学校の運動会は、50周年記念運動会と銘打って、先生方が「50周年記念」のTシャツを着て参加されておりました。最初の児童代表の言葉を1年生がやって、それがかわいくて、とてもよかったです。また、第九小学校は特別支援学級の児童がいるので、各種目にその児童たちが参加して、その当日の参観、見られていたご父兄の方々が、よい機会ではなかったかなというふうに感じております。とても成長を感じるのは、全生徒・児童に関しては、運動会を見ることではないかなと思っております。そこでまた地域の方とか大勢の方々が、児童の数以上に見に来ていただいているのが、とても印象に残りました。

第五中学校の運動会なのですけれども、やはり中学校ともなると、各種目の記録というものが出ておまして、その記録に挑戦する生徒たちの意気込みをすごく感じました。また、その運動会が脈々と綿々と続けられている伝統というものを感じた次第です。

そして5月31日、四谷小学校と日新小学校に行く予定だったのですが、雨天のため中止になり、翌日予定があったため、欠席しました。

それから6月7日に第一小学校の運動会に出席いたしました。やはり第一小学校も伝統ある学校ですので、吹奏楽部の方々が入場行進の曲を弾き、とても感じ入った次第でございます。

第一小学校にも、やはり特別支援教室がありますので、その児童たちが一生懸命、競技に取り組んでいるのを見まして、とても感心いたしました。

以上です。

○委員（崎山 弘君） 崎山です。

私も、本当は25日の日曜日が、第三小学校と第十小学校の運動会だったのですけれども、雨天中止で火曜日順延になってしまって、出られませんでしたので、欠席となりました。

もう一つの運動会が6月1日、日曜日に武蔵台小学校でありました。武蔵台小学校は、個人的な話ですけれども、私の子どもが行っているもので、13年間ずっと運動会を見続けているのですが、下の子が6年生なので、これで最後なんだなと思いながら見ていました。自分も昔、この運動会に参加していたので、非常に感慨深く見ておりました。

あとは、きょう午前中、府中市立中学校オーケストラ鑑賞教室に行っていました。1時間の間、実質は70分ですね。非常にコンパクトに、授業として非常に、いろいろな曲も聞けますし、オーケストラの紹介、楽器の紹介もうまくできていますし、指揮者がなかなか話術のたくみな方で、子どもたちにちゃんと説明していました。子どもたちも本当に熱心に聞いていましたし、非常にいい機会だなというふうに感じました。

また、昨日ですけれども、厚生労働省から一つ発表されたデータ、MRワクチンの接種率が発表されたのです。東京都では市区町村合わせて68団体あるわけですがすけれども、府中市はその中の9番目で、接種率が93.4%、これは非常にいい値だと思います。もともとその1位というのは、例えば御蔵島は対象者が1人で、1人接種すれば100%になるので、対象人口500人以上というところというならば、世田谷区、羽村市、稲城市、三鷹市に次いで府中市の順で、非常にいい成績です。この93%という値なのですけれども、自分で、自費で接種した人もいるわけなので、明らかに95%は超えており、厚生労働省として一つの目標としています。そのぐらいのかなりいい成績だったので、ただ、これは定着することに意味があるので、何度も言っていただければこの数字が上げられるのだということで、非常に自信を持ちましたし、皆さんの努力の成果だと私は考えております。どうもありがとうございました。

以上です。

○委員（新海 功君） 教育長新海から報告をいたします。たくさんありましたので、主なものに絞ります。

1点目は、平成20年度教育管理職自己申告に伴う面接を、5月28日より6月20日の中で8日間、設定して進めておりますが、その前半分4日間が終わったところでございます。これは年間に3回やっていて、今回が今年度の一番最初ということになります。こういうプランを立ててこういうふうに行っていきますよという、そここのところの話を聞く部分であります。

特に新しい学習指導要領が出て、今年度は耕しの年度ということで、一方で教育成果を上げながら、一方で移行措置、本格実施に向けての対応をとっていく時です。したがって、校内でどう研究していくかということの話を聞くことが、一つの大きなテーマになりました。

それから「府中市学校教育プラン21」については、ちょうど真ん中と申しますか、2期目の最終年度、6年目ということですので、ここでどういう着地をして次へ行くかという、そのところも一つの課題になっております。

この面接では、校長先生の自己申告書と、副校長先生の自己申告書を両方見ていくわけですが、若干課題がある方といますか、ここはちょっと書き直してくれますかという部分がないわけではありませんでした。それは、昨年度の自己申告書の部分修正といますか、その程度になっているというのは、ちょっと残念だなと感じました。ましてや校長先生がかわったら、副校長先生はそれに合わせて自己申告書が違ってくるだろうということでもあります。特にお願いしたのは、今、目の前にいる子どもたちというのは、未知の世界の開拓者なので、今の子どもたちに何をしっかりと身に付けさせておかなければいけないかという、そういう理念的なものを持って書いてほしいという、その部分について話し合いを持ちました。

教育のことですから、プランがきちんと実施に移されるというのが大事なことで、抽象論だとなかなかそっちへ行かないので、数値目標などを立ててやってもらっています。

数値目標についても、よく言うマネジメントサイクル、PDCAでありますけれども、そのPDCAの真ん中にRがあるでしょうと。すなわちリサーチというものがあるでしょうということなのです。だから、きちんと子どもの実態をとらえるとか、調査をするとか、そういった数値的なものをとらえた上で、その上に改善したり積み上げていったりする、そのところを極力お願いしたところです。

それから2点目、5月27日、火曜日に文教委員協議会がございました。時間も限られていますので、協議事項だけ申しあげますと、報告41として、財団法人府中文化振興財団の経営状況について、これは協議会ですので聞き置くという形になりましたが、今回の平成20年第2回府中市議会定例会の初日の日に了承されておりまして、二つ目は、報告42で国史跡武蔵府中熊野神社古墳保存整備事業について、これも了承されました。報告43、市立白糸台小学校校舎耐震改修工事の実施について、これも了承されました。4点目は報告44、市立小・中学校児童・生徒の善行、事故等について、これも了承をされました。それから5点目が、報告45、市立学校における副校長及び主幹教諭の設置についてで、これも了承されました。

それから3点目は、運動会の視察です。私は5月27日に第三小学校、これは5月25日の雨のために延びた運動会です。それから6月3日、火曜日、小柳小学校、これも5月30日、土曜日のものが雨で延びた運動会でした。それから6月7日、これは大変いいお天気でありましたが、第二中学校、第六中学校、第九中学校と、小学校2校、中学校3校、計5校を視察いたしました。特に、第六中学校では、2年生男子に12秒68という新記録が100メートルで出ましたけれども、中学校の場合は過去の記録が保存されていて、新記録が出たときに、それに対してアナウンスがされて、会場がわくというような盛り上がりがありました。

それから小学校の校長先生のみならず、先生方が中学校の運動会に来て、応援をして激励しているという、こういう姿がここ1～2年、目立ってきたといますか、見られるようになったというのは、大きいことだなと思いました。これは日ごろの小・中連携がなかったら、成立しないだろうということですね。これは美しい、いい姿だと思います。

それから、心配したのは熱中症、特に春の運動会ですから、子どもの体がまだ暑さになれていないということで、指導室の方からも文書を前もって出して注意を喚起し、また学校の方も、その点で神経を使っていたところでございます。

それから、ちょっと気になったのは、教員のサングラスでありました。校長先生に届けがあって、かけているのですかということ、それとなく目立たないように聞いたわけですが

も、やはり子どもというのは先生の言葉だけでなく、先生の目を見て行動することもあり得るわけですね。そのときに先生方、事情はあったのだと思いますけれども、サングラスをかけてやっている、子どもはわからないんですよ。そういうこともあるからということで、お話をさせていただきました。

それから4点目は、5月28日、水曜日の午後に、平成20年度府中市民表彰の受賞式典がありましたので、それに参加いたしました。自治、納税、社会福祉、保健衛生、安全対策、教育、労働、産業功労、それから寄付行為ということで、31名の方が表彰をされました。保健衛生関係では学校医、学校歯科医、学校薬剤師の方々、それから教育では青少対の地区委員の方、そのほか本市の学校評価委員をしてくださっている方が産業功労で表彰されるなど、お祝いを申しあげたところです。

それから6月6日、現在行われています「ゆかいな木版画」の展覧会をのぞいてまいりました。これはやっぱり木版画だから、大きさの限界がどうしてもある。木の幅というのは1メートル、2メートルという、そういうことはあり得ませんから、やっぱり小品になる。だけれども、よく見ると、木版画には日本独特のものがあって味わい深いということでもあります。「ゆかいな」というタイトルをつけているわけですが、この「ゆかいな」というのは、例えば子どもの絵というのは、見ていたらこちらがにこっとするような絵がいい絵ですよ。そういう意味でいうと、版画1点1点見ていると、こっちの方がゆかいになってくるといいますか、そういうような作品が並んでいて、それが一つの見どころかなと思ったところでございます。同時に、府中市木版画会の方々の作品が市民ギャラリーの方で展示作業をされておりまして、展示の工夫をしている様子も見てきたところであります。

それから7点目には、6月6日の夕刻から、府中国際友好交流会の総会が開かれたので、それに参加をいたしました。これまで、いわゆるオーストリアのヘルナルス区との交流で、今は市の方ではやっていないのですが、市の方から派遣された子どもが5年間で6人ずつということで30人いるわけでありまして、この友好協会からも52名派遣されていますから、合わせて82名になります。それだけの高校生が派遣されているわけで、今年も6名の高校生、男性が1人で女性が5人ということでした。男女はどこで決まるかということ、受け入れ先の方で、女性の方、男性の方ということになってくるものですから、それに合わせてやっていくということでした。お世話する側も大変なのだと思いますけれども、そういう方の努力があって国際交流が図られるということでもあります。これからの子どもは、いわゆる世界的視野で物事を考えていって、そして実際、足元からといいますか、一つ一つ交流を図ることが大事です。

それから6月7日の土曜日に、府中多摩・島しょ子ども体験塾が開かれました。内容はサイエンスショー「音の正体を探れ」ということでありました。ふるさとホールで開かれたのですが、参加者を見ると、ほとんどが小学校の低学年ですね。低学年に音、目に見えない音がどれぐらいとらえられるかというのが課題でした。視覚化したり、体感させたりしながらとらえられるかということでありまして、これはガリレオ工房というところのサイエンスショーでありましたけれども、この前見ました米村でんじろう科学教室ですか、これに比べるとちょっと規模が小さいかなと思いました。けれども、小さい子にもわかるように見せ場をつくってやっていました。昨今は理数科離れという中で、理科離れというのが心配される場所でもありますけれども、小さいときにこういうことで科学のおもしろさに出会うということは大事なことだな

と思いました。

それから9点目は、6月8日に第20回、ちょうど節目となる府中オープン卓球大会に列席をしました。それから府中市卓球連盟から卓球のマシン練習機をいただいたのですが、それが体育館の卓球場にあったものですから、それを出して、実際どういうふうに出るのかとか、どういう練習ができるのかというのを見てきました。手元が見えなくて、いきなり球が出てくるものですから、最初は達者な人でもうまくいかないのですけれども、いろいろなカーブだとか、早い球、遅い球、そういうのを操作できるのですね。それが手元でリモコンがあって操作ができるというものでありますから、こういうのも有効に使っていく。それこそ今は、水泳の水着が話題でありますけれども、こういうのも有効活用していくのも一つの大事な点かなということを思いました。何と云っても、第20回の府中オープンですから、そこへ来る選手というのは、腕に覚えのある人ばかりが来るのだと思いますが、何と500名を超えていました。ですから、大きい方と小さい方の体育室、両方使って大会が開かれたわけでございます。

それから、10点目であります。平成20年第2回府中市議会定例会が6月9日から6月24日、16日間にわたって開かれます。現在は、本会議、一般質問が10日火曜日、11日水曜日の2日間、これが終わりました。これにつきましては、後ほど協議会の方で部長から報告があります。13日、明日ですが、文教委員会になっております。

以上であります。

○委員長(久芳美恵子) それでは、久芳が報告いたします。

運動会に関連しまして、南町小学校、矢崎小学校の運動会、5月24日、そして1日延期になりました。6月1日に行われました本宿小学校の運動会に行きまいりました。第三小学校、それから第三中学校の運動会につきましては、残念ながら行くことができませんでした。

南町小学校でございますが、特別支援学級があって、毎年、体操の後、1番で特別支援学級の競技があるのですけれども、今年すごく感じたのは、特別支援学級の中の上級生が下級生を援助してやるような、そういう競技で、とてもほほえましいと思うと同時に、ああ、上級生も頑張っているなど。もし上級生の保護者の方がこの様子を見たら、とても喜んでいただけるのだろうと感じました。先生方がいろいろ競技について工夫をなさっていることがとてもよくわかるものでございました。

矢崎小学校で私が感じたのは、先ほど新海委員からもご報告がありましたけれども、転任した、中学校ではないのですが、小学校で転任した前の担任の先生が、かなり応援に来ておりました。たまたま私のお隣にいらした先生は、小学校の6年生の競技を非常に熱心に、生徒とエールを交換しながら見ていたので、去年5年生の担任だったのが、ことし転任なさって、その卒業させないで転任をなさった、きっと心残りがあって、ぜひ運動会にというふうにおいでになったのかなと思いました。これは矢崎小学校に限らず、どこの小学校でも、その年に転任なさった先生がご覧にいらっしゃるという姿を今までも多く見ていましたので、子どもたちにとってもうれしいことではないかなと思いました。

本宿小学校でございますが、1日延期しまして、土曜日の雨はどこへやらという、すごくいいお天気になりました。校長先生が、ちょっとやっぱりぜいたくなのだけれども、もうちょっと曇ってほしいなんていうような、いいお天気でした。本宿小学校はお隣に大きなマンション

が建って、かなりの人数の子どもが小学校の方に入学されて、転入されて、700名を超えて、結局、教室が足りなくなって、増設したという話でございましたが、あれだけの人数が校庭を埋めると、やっぱり壮観だなと。やっぱり運動会というのは、まあ人数にも制限がありますけれども、少ないよりは多い方が迫力があっておもしろいし、それぞれ応援する保護者の方たちもゆかいなのではないかなと感じた次第でございます。

6月7日、土曜日、あじさいまつり開催中の郷土の森を訪れました。あじさいに関しましては、園内の中央部はまだ色づいていなかったのですけれども、多摩川に近い梅林のそばのあじさいが非常によく成長して色づいていました。そこでは絵をかいていらっしゃる方とか、それから写真機を構えていらっしゃる方というのがとても多くて、あじさいだけではなくて、園内各地にそういう方がおいでになったのですね。そういうこととか、水場で、この日もちょっと暑くなってきた日だったので、水のところでは大勢の親子連れが、もう水遊びに興じておりました。これは午前中だったのですけれども、そういう状況とか、それから、たまたまあそこに田植えクラブみたいなものがございますよね。田植えクラブの子どもたちが、まだ田植えが始まる前だったのですが、もうドロドロになって泥遊びを楽しんでいるという、そういうような状況を目にしまして、もう本当に市民の多様なニーズにこたえているのだなという印象を大変強く持ちました。たまたまハギのトンネルのところで、前生涯学習部長の佐藤さんにお会いしました。それで、こういう特技をお持ちだったというようなことなのですが、ハギのトンネルの中で手入れをしていらっしゃる様子を見て、とても元気な様子でございました。やはり建物の中より自然の中にいらした方が元気になるのだろうなというふうに思いました。そういうことで、あじさいまつり、これから盛況になるのだろうなと思いました。いつ行っても印象に残っているのは、非常に園内がきれいに整備されているということで、職員の方々のご努力に本当に感謝いたします。ありがとうございます。

以上でございます。

それでは、第6回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。

ご苦労さまでございました。



午後2時44分閉会